

硫黄鳥島の火山活動解説資料（令和元年12月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

17日に実施した海上からの観測では、硫黄岳火口北北西の海岸付近に新たな噴気が確認されたものの硫黄岳火口やグスク火口に特段の変化はみられませんでした。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況（図1～5）

17日に実施した海上からの観測では、硫黄岳火口内から高さ約300mの噴気を観測しました。グスク火山火口からは噴気は観測されませんでした。また、硫黄岳火口北北西の海岸付近で高さ約10m程度の新たな噴気を確認しました。硫黄岳火口の西側の海岸線に沿って黄緑色の変色水域を観測しました。風下側で強い硫化水素臭が感じられました。

硫黄岳火口北北西の海岸付近に新たな噴気が確認されたものの硫黄岳火口やグスク火口に特段の変化はみられませんでした。

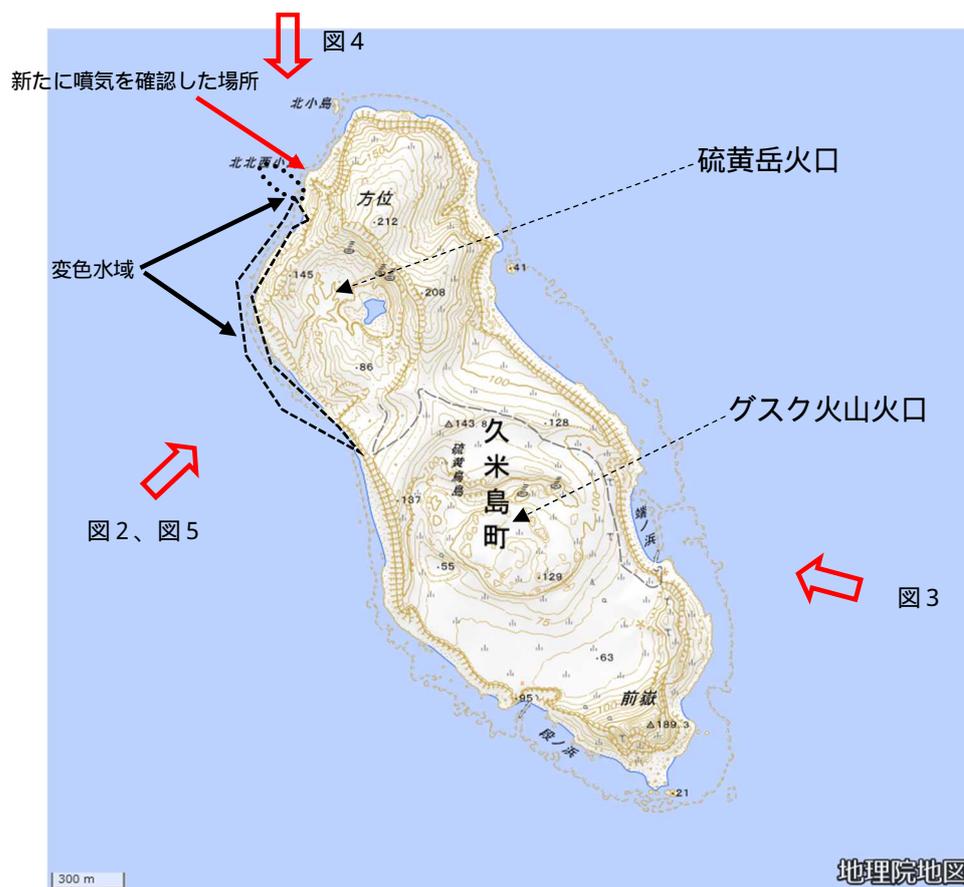


図1 硫黄鳥島 噴気位置、変色水域位置と各図の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧できます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuj_i.html

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。



図2 硫黄島 硫黄岳火口の状況（17日撮影）

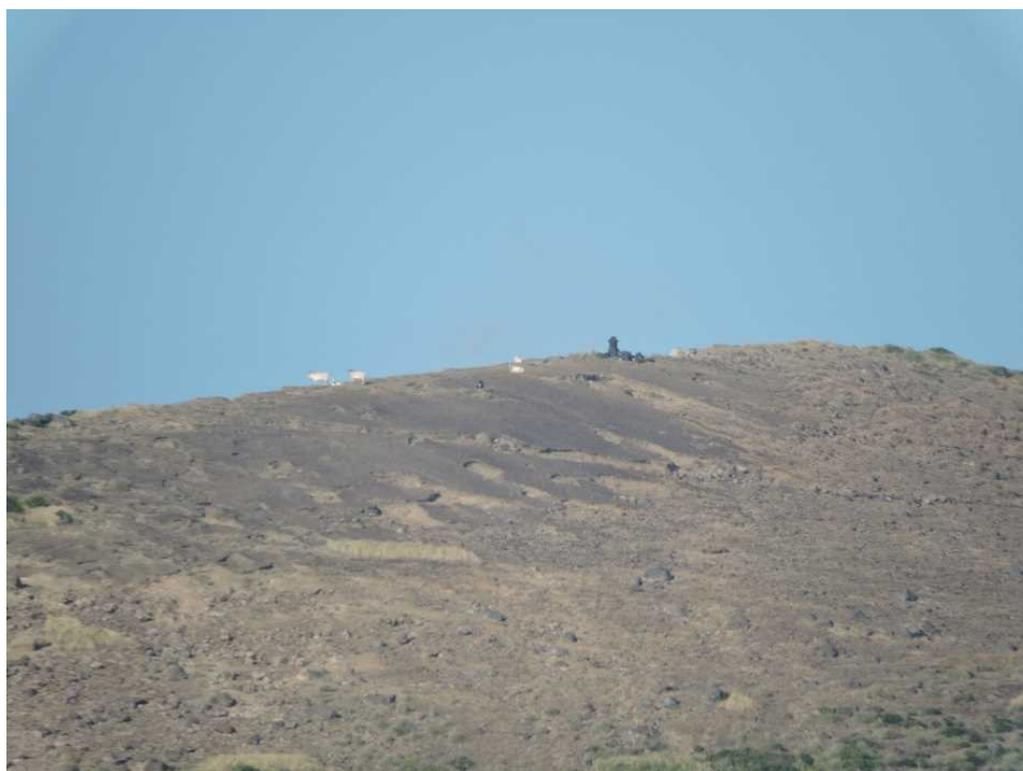


図3 硫黄島 グスク火山火口の状況（17日撮影）



硫黄岳火口下の海岸からの噴気

図4 硫黄島 硫黄岳火口下の海岸からの噴煙の状況（17日撮影）



変色水域

図5 硫黄島 硫黄岳南西側の変色水域の状況（17日撮影）